

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



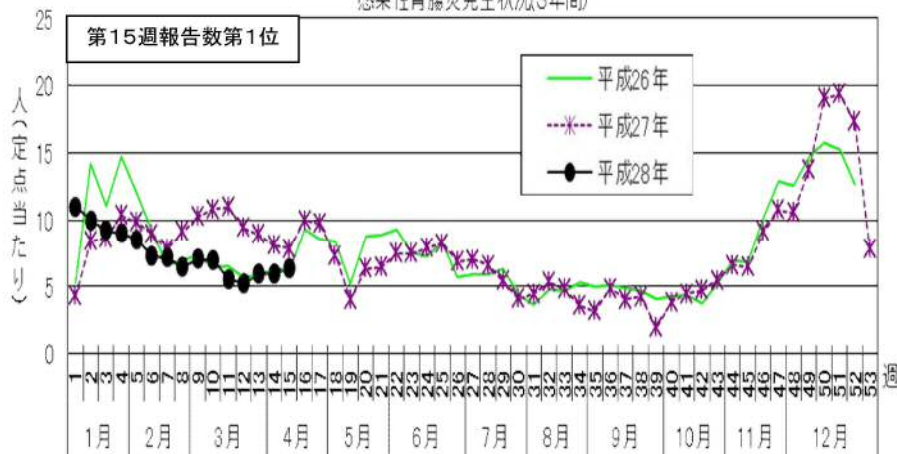
KAWASAKI CITY

平成28年4月11日（月）～平成28年4月17日（日）〔平成28年第15週〕の感染症発生状況

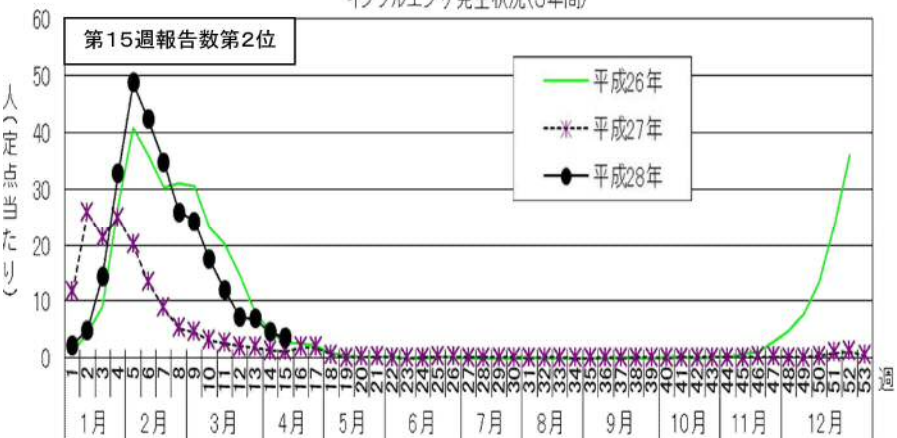
第15週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎は定点当たり患者報告数は6.35人と前週（5.97人）から増加し、例年より低いレベルで推移しています。インフルエンザは定点当たり患者報告数は3.50人と前週（4.49人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり患者報告数は3.03人と前週（1.86人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外で気をつけたい感染症～

ゴールデンウィークには海外へ渡航される方が多くなります。海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるように、海外で注意すべき感染症をお知らせします。

蚊が媒介する感染症

デング熱、マラリア、ジカウイルス感染症、黄熱などは病原体を保有した蚊に吸血された際に感染します。虫除け剤の使用や長袖・長ズボンの着用などにより蚊に刺されないように注意しましょう。



食べ物や水を介してうつる感染症

赤痢、腸チフス、コレラ、A型肝炎、E型肝炎などは病原体に汚染された食べ物や水を介して感染します。生肉などは避け、十分に加熱された物を食べましょう。生水は飲まないようにしましょう。



動物からうつる感染症

狂犬病、鳥インフルエンザ、MERS（中東呼吸器症候群）などは病原体を保有する動物からうつり感染します。海外では、むやみに動物に触れたり、近づくことはなるべく控えましょう。



予防接種を受けることで感染するリスクを下げることができる疾患があります。流行地に渡航する際には、医療機関や検疫所でワクチンの種類や接種日程を相談しましょう。

